

見て・聴いて・考えた

聴く → 動く

常任委員会

よりいいまちのため

各委員会では、それぞれテーマを掲げて調査・研究に取り組んでいます。



見て・聴いて・考えた



調査レポート



調査研究



寄居町議会HP
委員会構成

今回は視察研修について報告します。

有害鳥獣対策 (調査日 2月1日)

地域住民と一体で進める有害鳥獣対策

埼玉県 飯能市 人員補充、情報収集等により被害が減少

飯能市の被害額は、埼玉県全体の3割を占めています。同市は平成22年に「被害防止計画」を策定。平成26～28年にかけて被害は減少しました。イノシシは、非常勤の鳥獣被害対策指導員(2名)が、通年で80～90頭を捕獲。被害の多いサルは、追い払いの臨時作業員も2名にしました。



寄居町のイノシシ捕獲は107頭(29年度)

ご存じですか 議会の視察研修は、情報交換と、先進事例を学ぶ貴重な機会です。平成29年度の寄居町議会の視察受け入れは15件。視察に赴いたのは7件でした。

飯能市の取り組み、ポイントはココ

- ・自治会への情報提供、地域からの情報収集
- ・講習会を開催し、542名の捕獲従事者を育成
- ・市職員による「鳥獣被害対策隊」を設置

視察を終えて「議員の視点」

- ・町の課題として迅速な対応が必要。
- ・地域ぐるみの対策、情報の共有、被害状況の把握も大切。種別・地域別の分析と対策が必要だ。



有害鳥獣対策について

町民からひとこと **戸澤喜美枝さん** (鉢形)

昨年秋に猟友会の方が網・えさ・わな等すべて持参し、イノシシ6頭を捕獲してくれました。安心して、また畑で野菜がつかれます。



“子育て世代が住みたい田舎第1位” 対策は

茨城県 常陸太田市 子育てしやすい環境を総合的に整備

茨城県内最下位の出生率を打開するため、20代から30代が魅力を感じるまちづくりを推進することで、若者世代を呼び込むことを目的とし、就労・結婚・定住・出産・子育ての環境を総合的に整備。若い職員からの提案や子育て中の女性の意見を積極的に採用し、プロモーションを含めた施策の充実を図っています。



公式キャラ「じょうづるさん」も子育て支援をPR

常陸太田市の取り組み、ポイントはココ

- ・新婚家庭の家賃助成 月2万円(最大36ヵ月)
- ・市営住宅を市外からも入居可能に
- ・「子育て上手常陸太田推進隊」の取り組み

視察を終えて「議員の視点」

- ・女性中心の事業推進。参考にしたい。
- ・単発でなく連動して総合的に対策を展開。市民との協同という着眼点やどこに力を入れるかの議論がしっかりされている。



少子化対策について

町民からひとこと **佐藤 大さん** (折原)

自然豊かな中で子育てしたいと3年前に家族で移住。寄居の子育て環境は決して悪くない。もっとアピールすべきだと思います。



議会広報広聴特別委員会

視察受け入れで相互に刺激

1月～2月に来町いただいた議会

- 1/30 千葉県多古町議会 (議会広報特別常任委員会8名)
- 2/22 長野県御代田町議会 (議会だより編集委員会10名)

「聴く→動く」が隔々に行き渡る躍動感あふれる紙面づくり。住民参加型の読まれる広報誌に刺激を受け、多くを学びました。インパクトある見出しの工夫、何をどう伝えるのかなど。アドバイスいただいた点の改善に取り組んでいきます。(多古町議会 石渡悦子委員長)



住民が登場する企画が多く、手に取ってもらえる身近で愛着のある議会だより。名称やタイトルも斬新で、他に類を見ない「さすが最優秀賞受賞」と感服しました。長泉町議会だよりも取り入れていきたいです。(長泉町議会 大沼政明委員長)



議会だより編集のほか、視察来町に委員会で対応し、活発な議会広報の意見交換をしました。

活発な広聴活動による住民登場の多い企画や町民関心がある情報を取り上げ、「町民に身近な広報誌」と感じました。難しい議案については議員の賛否一覽でわかりやすく表現するなど、早速取り入れたいと思います。(御代田町議会 池田のみ委員長)



県から説明を受ける

埼玉県環境整備センター公害防止協定及び細目協定の改定は、「浸出水は環境整備センター内で処理せず、公共下水道経路で荒川上流水循環センター(深谷市)で処理後に荒川放流となるため、基準に合った検査項目にする」という内容。彩の国資源循環工場(借地施設)運営協定の改定は、事業者の監視経費納付手続きを改めるため、との説明でした。

第6次三ヶ山地域開発調査特別委員会 三ヶ山地域の開発調査 (調査日 2月5日)

